

Take  
Free

\\ ✨ 自分らしい生き方、応援します! ✨ //

# ソーレ・スコープ

第98号  
2021.Oct



イラスト：ヒビノケイコさん

**講演** 男女共同参画推進月間講演会  
江戸の遊女はなぜ日記を書くのか  
性差 [ジェンダー] の歴史から現代社会を考える

**特集** ソーレ相談室だより

詳しくは    
HP <https://www.sole-kochi.or.jp>

フォローしてください!



HP



Facebook



Twitter

# 江戸の遊女はなぜ日記を書くのか

## ～性差〔ジェンダー〕の歴史から現代社会を考える～

令和3年6月19日(土) 13:30～15:30

### ジェンダーの歴史を紐解く

国立歴史民俗博物館は何かを借りてきて展示するのではなく、大学が共同で研究した成果を発表する場としています。

昨年(2020年)は、「日本列島社会の歴史とジェンダー」という3年間の共同研究をもとに『性差〔ジェンダー〕の日本史』という展示を行いました。

このプロジェクトを進めるにあたり、私は目に見えないジェンダーについて、どのように皆さんに見ていただこうかと考えました。

まず、女だったら、男だったらこういうふうに行動しなさいという、男女の社会的な区別が生まれたのはいつからなのか、人類始まって以来あったのかを見てみました。すると、男女を区別する制度は、海外同様、日本の場合も、明らかに人間がつくってきたものということがわかりました。その中で人々がどのように生きてきたのか、女性たちの声に耳を澄まし、想像ができるような展示を心がけました。具体的には、仕事と暮らし、政治空間でそして性の問題について、男性と女性がどうであったか、歴史を追った内容にしました。

### 遊女の登場

日本の博物館は、文字の資料が古い時代から残っていて長い期間の歴史がよく分かります。よく売春は最古の職業だと言われることがありますが、古代には性の売買という概念そのものがなかったのではないかと思います。なぜかという、当時の結婚は非常に流動的で、一夫一婦制のような強いつながりではなかったからです。

10世紀前頃からは、結婚による夫婦の関係性が強まっていくとともに、女性の社会的立場が段々と弱くなっていったことから、男性が女性の性を買うという「買売春」が生まれました。そして、中世になると、娼婦

を意味する「遊女」という言葉が登場します。その頃の「遊女」は自営業者で、何より芸能の能力がないとなれません。芸能をし、場合によっては性も売り、自分の家の場合には宿屋もやる。ホテル兼エンターテイメント兼売春みたいな遊女の家を、母から娘へと代々譲っていたのです。

しかし、戦国時代になると遊女の家はほとんど資料に出てこなくなり、男性の経営者が日本のあちこちから遊女を買い集め売春させる遊女屋に代わります。江戸時代になると、幕府は参勤交代で単身赴任の武士を全国から江戸や大阪のような巨大な城下町に集めました。そして女性の性を買える場所を公認し、遊郭をつくったのです。江戸時代、人身売買は原則禁止でしたが、年季を決めて遊女奉公の名目のもと女性たちは売買されました。そこへ連れてこられた女性たちというのは、本当に厳しい状況にあったと思います。

江戸では、幕府が遊女屋に対して、遊郭内で営業する権利を認め、非合法の遊女を取り締まり吉原の遊女を商売道具にすることを認めました。町奉行所の年収も多いときには4分の1弱は遊郭からの上納金で、江戸の行政も遊郭に依拠していました。

実は吉原というのはものすごく火事が多いところでした。1800年から幕府が倒れるまでに20回以上の火事が吉原で起きています。遊女の付け火(放火)によるものもあり、2年半か3年に1回火事が起きている、相当激しい社会です。

なぜ遊女たちは付け火をしたのか、実際の遊女はどういう暮らしをして、どういう思いを持っていたのか長いこと分からなかったのですが、東北大学の附属図書館にある『梅本記 参』という資料に、付け火をした遊女たちの日常の食事や苦しい生活を書き綴った日記の写しや裁判の調書がありました。



## 講師 横山百合子さん 国立歴史民俗博物館名誉教授

1956年生まれ。神奈川県立高校で社会科教諭として勤務後、東大大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。千葉県経済大学経済学部教授などを経て、国立歴史民俗博物館教授。専攻は日本近世史、ジェンダー史。国立歴史民俗博物館で開催された企画展示「性差〔ジェンダー〕の日本史」展のプロジェクト代表。

著書に「江戸東京の明治維新」(岩波新書)「明治維新と近世身分制の解体」(山川出版社)ほか。

付け火の動機「小雛申し口」(調書)より抜粋  
「両度食べさせ候食事世間並み二相外れ、事替り候品食べさせ、その上昼夜となく手荒の責二違い、実に以て何共申し上べきの様これなく、いまだ書入(年季)四ヶ年もこれあり、とても身体取続き出来申さず、所詮此姿にて責め殺され候より、火を付け、皆憤を晴し候うえ、御法通の御沙汰を蒙り候積りを以て、当三月廿一日頃と覚え、傍輩拾六人兼々申し合わせ置き候処(中略)拾六人一同申し誓い置き候義二付、今更遁れ申すべきなどと申心底、毛頭御座なく候」  
(東北大学附属図書館蔵「梅本記 参」より)

次の文章は、わかりやすい現代語にしたものです  
「2回ある食事、中身はとんでもない食事を食べさせ、昼夜なく手荒い責めにあい、それでも、もう少しで年季明けだと思えば我慢するけれど、年季の奉公は4カ年もある。これでは体ももたない、所詮どうせこんな状態で、この姿で責め殺されるよりは火を付けて皆で怒りを晴らしたい、覚悟を決めて、3月21日頃、16人で申し合わせ、火付けをした。死刑かもしれない、島流しかもしれないけれど、法の裁きを受ける覚悟だ。この新吉原に閉じ込められてここで暮らすのは耐えられない。もう命をなくしてもこのひどい梅本屋という主人を告発したい。」

遊女たちが「自分たちは間違っていない。梅本屋が不正なんだということを明らかにしたい、その結果、自分たちが火あぶり、島流しになってもいい」と腹をくくって付け火という行爲に出たわけです。

### 書くことの意味

遊女たちの「日記」は、話し言葉によって自己を取り巻く世界を書き写していった記録です。人間は心に非常に強く刻まれたこと、辛いことを吐き出さずにはいられません。今なら、例えばSNSに匿名で書くこともできます。一番

いいのは信頼できる人に話すことです。しかし、遊女には聞いてくれる人がいたでしょうか。常に競争、ライバルの世界に置かれています。聞いてくれる親友がいたとしても、もしその人が裏切ったら、旦那に言いつけたら、自分もう本当に破綻です。そう思うと、なかなか話せない。遊女の生活というのは、そういうものだったんだろうと思います。それならばどうするかというときに、「自分の心の中の溢れる思いを書かずにはいられない」、そういう気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。書くことでもう一人の自分がそれを後になってから読む。そうすると、自分を客観視することもできたでしょう。

### 歴史から何が学べるか

江戸の社会は買売春を公的に承認し、娼婦の数もたいへん多かったわけです。近代になってもそのことを「これでいいのか」と振り返ることなく、歴史が続いてきています。そのため、現代の日本で性を買うということのハードルが、ある意味非常に低いところがあると思います。

江戸時代は、もちろん文化を生んだという側面もありますが、そういう歴史的背景があることを私たちはもう一度振り返らなければいけないという問題があります。また、親のために身を売り、もう遊郭で生きると決めていた女性が、自分の人生を思ったとき、自分はこれからどう生きていくのかと本当に考えたと思います。人生はいろいろな難しさにぶつかります。その時に自分を見つめてどうすべきかということを考えて行動に移すことは大変なことだと思います。でも、これしかないと思ったときに一歩を踏み出す、その決意、決断、そういう人間としての強さみたいなもの、この激しい抑圧の中でも真剣に生きた人たちがいるということを知ることできて、歴史を勉強してきてよかったと思いました。

人間は暮らす環境は違うし、考え方も違うけれど、そこに生きた人たちの思いや歴史を知ること、私たちは学んだり、勇気づけられることがあるのではないかと思います。

# ソーレ相談室だより



こうち男女共同参画プラン「環境を整える」  
男女共同参画の面から見た健やかで安全な暮らし

男女共同参画社会の実現に向けて、高知県が取り組む5年間の計画「こうち男女共同参画プラン」が今年度から新たにスタート。

このプランにちなんだシリーズ、今回のテーマは「環境を整える」です。

様々な困難を抱える女性たちからの相談を通して、すべての人が健やかで安全に暮らせることを目指した事業を行っているソーレ相談室の取り組みをご紹介します。

## こうち男女共同参画センター 「ソーレ」の相談事業について

NPO法人DV対策・予防センター九州 理事長  
佐賀市生活自立支援センター センター長

原 健一さん



私は、平成19年度から13年間、佐賀県DV総合対策センターの所長を務めていました。

所謂「ソーレ」と同様の男女共同参画センターの相談室も管理運営を担当してきました。その寄せられる相談の約3割はDVを主訴とした相談でしたが、主訴のない何とも行き場のない様な相談も多くありました。そのような相談者にとっては相談室が居場所でもあったと思います。

相談員は、DVの相談であれ、主訴の見えない相談であれ、丁寧に時間をかけてその訴えに耳を傾け、相談者の思いに寄り添ってきました。数年前から社会が多様化するようになり相談内容も多様化してきました。実は「DV防止法」の法律の主旨は「離脱」、つまりその相手や家から離れることにありますが、「逃げない・逃げられない」相談者の支援が明らかに必要となってきました。「在宅DV支援」というとても難しい支援です。それを実現するため、他(多)機関連携と伴走型支援が今後の課題になると考えています。

このコロナ禍において、内閣府が主導してきた「DV相談+(プラス)」の取り組み成果もあり、2020年度は前年比1.6倍の約19万件的相談が全国から寄せられています。初めて相談したという人と精神的DVの相談が多いという報告がありました。高知県においても、相談内容は多様化して「ソーレ」相談室でしか救えない相談も多くあると思います。このような背景で日々相談に奮闘している「ソーレ」相談室の取り組みにこれからも期待しています。

総合的な相談窓口として、相談する方が自分の力を発揮して、解決に向けて自ら歩いていけるよう支援をしています。

## 女性のための 一般相談

家庭や職場、地域での問題などについて。



相談員 ソーレ相談員

方法 電話または面接

日時 第2水曜日、祝日、年末年始をのぞく  
9:00~12:00および  
13:00~17:00(16:00受付終了)

相談 ☎ 088-873-9555

3人の相談員が  
昨年度は2,370件の相談を  
お受けしました。

## 相談関連事業



ひとつひとつの相談から見えてく問題を、女性が置かれた社会構造が発生する問題として受けとめ、講座など行っています。

### 相談関連講座

相談から見える課題をテーマとして、より深く広く考えてもらい、自分らしく生きていく新たな機会となる講座を開催しています。

※令和3年度相談関連講座

「こころと体のストレスケア」の事業報告を掲載しています。  
詳細はP.5をご覧ください。

### 「話す・共感し合う場」としてのジェンダーカフェ

令和3年度 第1回 6月20日(日)

『埴輪から現代へ  
男女の区分の始まりとジェンダーの変容』

講師:横山百合子さん



次回は10月31日(日)です。

『働くこと/自立すること』そしてそのむずかしさについて』  
講師:瀬山紀子さん

相談については裏表紙もご覧ください。

## 女性のための こころの相談

人間関係の悩みや不安、ストレスなどについて。

- 相談員 女性心理カウンセラー
- 方法 面接
- 日時 毎月第1・3木曜日  
14:00~16:00
- 予約 088-873-9100

## 相談員スキルアップ研修

高知県内の相談現場にジェンダーの視点を伝え、顔の見えるネットワークを形成し、課題を共有し合う場として毎年研修を行っています。  
令和3年度のテーマは「家庭の中の暴力」です。

## にじいろコール

性自認、性指向などについて。

- 相談員 専門相談員
- 方法 電話
- 日時 毎月第4土曜日  
13:30~16:30
- 相談 ☎ **088-854-8542**

性の多様性について理解され、互いに認め合える社会づくりには、ジェンダーの視点が欠かせません。



## 男性のための悩み相談

家庭や職場・地域での問題、ストレス、不安などについて。

- 相談員 男性心理カウンセラー
- 方法 電話または面接
- 日時 毎月第1、3火曜日、第4水曜日  
18:00~20:00
- 予約 088-873-9100



ひとりで抱え込まないで  
お悩みを話してみませんか？

## 女性のための 法律相談

離婚や相続などについて。

- 相談員 弁護士
- 方法 面接
- 日時 毎月第2、4木曜日  
14:00~16:00
- 予約 088-873-9100

知識を深める、学ぶ啓発誌やリーフレットを作成。関連した図書も購入し、閲覧や貸し出しをしています。



## 暴力の予防と啓発に関する事業

### DV防止啓発講演会

女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けて「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12~11/25)前後に合わせ、DV(暴力)について講演会やパネル展示等を通し啓発活動を行っています。



パープルリボン

※令和3年度DV防止啓発講演会11月7日(日)開催。  
詳細はP.5をご覧ください。

### 出前講座

DV等についての正しい知識と理解を深めていただくため、また、若年層を対象とした交際相手との間で起こるデートDVの予防教育にも力を入れ、様々な地域に出向き実施しています。



#### 【過去5年の実績 相談員派遣】 参加者延べ人数

- デートDV 2,039名
- DV 348名
- ハラスメント 96名
- 相談の聴き方/受け方 79名
- 男女共同参画 51名
- 女性と人権 14名

## 2021 年前半に実施した新講座をご報告！

### 相談関連講座

#### 「こころと体のストレスケア」

日時：7月11日(日) 10:00～16:00

講師：石井朝子さん  
(ヒューマンウェルネスインスティテュート 代表理事)

イライラする、不安やストレス、言葉に表せない不調を感じる時、そういった感情に飲み込まれないように「今、この瞬間」の私に注意を向け、こころや体の状態に気づく力を育み、あるがままの自分を受け入れていく「こころのエクササイズ」のマインドフルネス体験講座をオンラインで開催しました。

マインドフルネス・スキルを習得すると、ストレスな場面においても否定的な感情や物事にとらわれず、自分を取り戻して乗り越えていくことができるようになるそうです。



午前中は概論、午後からは数種類の実践法を体験しました。受講者からは多くの質問の手が上がり、気づきや疑問の共有ができました。

#### 受講者の声

- ・役立つスキルを知ることができた
- ・固定観念にとらわれている自分に気づけた

### ナツボラ 2021

ソーレで『新聞クリッピング』を体験しよう！

実施日時：7月27日(火) 9:30～12:00

高校生に男女共同参画について考えてもらうことを目的とした「新聞クリッピング体験」を学生ボランティア「ナツボラ」で募集。5名の定員はすぐに埋まってしまいました。オリエンテーションで男女共同参画について学び、ソーレボランティアと共にクリッピングを行いました。そのあと、今の社会で変えていきたいと感じていることを“STUDENT VOICE「私たちにできること」”として書いてもらいました。この経験が男女共同参画への興味や関心につながり、これからセンターを利用してもらうきっかけとなることを期待しています。



#### 参加した 高校生の声

- ・地域の人との関わりができて楽しかった
- ・男女共同参画について学べ、課題も知ることができた

## DV防止啓発講演会



### 「非常時」に浮かび上がるDVや虐待、性暴力

コロナ禍の中でDVや虐待、性暴力の問題が注目されていますが、過去の災害時でも同様の問題が起きていました。非常時に社会的弱者の声が置き去りにされないよう「暴力を認めない社会」に向けて一緒に考えていきませんか。



日時 11月7日(日)13:30～15:30 (開場13:00)

講師 北仲千里

(NPO法人全国女性シェルターネット 共同代表/広島大学ハラスメント相談室 准教授)

対象 テーマに関心のある方

定員 会場:100名 オンライン:500名(ともに先着順)

申込 電話またはHP申込フォームにて受付中  
※オンライン受講締切は11月5日(金)17時

共催 高知地方法務局/高知県人権擁護委員連合会/高知県女性保護対策協議会

### 東日本大震災 写真展

(期間:11/1～25)

写真を通して、災害後の社会について考えていける機会となるように東日本大震災写真パネル展を1階アトリウムで開催します。\*写真提供:高知新聞社

### 【新型コロナウイルス感染症の拡大防止について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、室内の定期的な換気等の対策を行っております。なお、皆様におかれましてもマスク着用や入館時の手指消毒・検温などへのご協力をお願いいたします。

### 【オンライン(Zoom)による講座について】

オンライン受講は、ホームページから外部サイト(Peatrix)をご利用ください。なお、有料講座の受講料は、お申し込み時にお支払いいただきます。

# 講座のご案内

無料 受講料無料

託児付き(6カ月～  
小学3年生まで・予約制)  
未就学児童は無料。  
小学生は1家族500円。

オンライン  
受講可能

●詳しくはホームページをご覧ください。 ●お申し込み・お問い合わせは、**088-873-9100**まで  
(受付時間 9:00～17:15)

## ジェンダーカフェ 身近なジェンダー問題をまじめに語る

無料

1回だけの参加もOK! テーマにまつわる話を講師から聞き、その内容をもとに語り合います。気軽な雰囲気テーマを掘り下げる講座です。

日時・テーマ・講師 | ※各日 13:00～16:00

10月31日(日)	「働くこと／自立すること」そしてそのむずかしさについて / 瀬山紀子(明治大学兼任講師)
11月28日(日)	ホンマかいな精神 メディアと上手につきあう方法 / 小川真知子(NPO法人SEAN理事長)
日程未定	ひとりぼっちとは違うシングル単位の生き方 / 伊田広行(DV加害者プログラムNOVO運営者、立命館大学大学院非常勤講師)

対象 | テーマに関心のある方 | 定員 | 各回20名(先着順) | 申込 | 電話またはHP申込フォームにて受付中

### 男女共同参画講座

無料  
オンライン

## 「LGBTs」から見える新しい「性」のカタチ ～みんなが多様であるために～

従来からの性の概念を超えて自分らしく生きることや、家族と社会が今後どのように変わることを期待するののかについて、トランスジェンダー\*として両方の性で生きてこられた講師にお話しいただきます。

日時 | 11月13日(土)13:00～16:00

講師 | 佐倉智美(ジェンダー&セクシュアリティライター、NPO法人SEAN理事)

対象 | テーマに関心のある方

定員 | 会場:30名 オンライン:100名(ともに先着順)

申込 | 10月2日(土)9時～ 電話またはHP申込フォームにて  
※オンライン受講締切は11月11日(木)17時

\*生まれたときに身体を基準に割り当てられた性と、自分の心にじっくりくる性が一致しない人のこと。

### エンパワメント講座

無料  
オンライン

## 心を削らない働き方 ～何度でもやりなおせる～

「職場がづらい」「働き続ける自信がない」「どう両立させたら・・・」講師の当事者体験を交えて、生きづらさの原因に女性自身が気づき、能力を十分に発揮できるように、働きやすい環境づくりや、自分自身の心のもち方などについて考えます。

日時 | 11月21日(日)10:00～16:00(昼休憩1時間あり)

講師 | 佐藤美礼(NPO日本キャリア・コンサルタント協会理事)

受講料 | 1,000円 | 対象 | 女性

定員 | 会場:30名 オンライン:100名(ともに先着順)

申込 | 10月9日(土)9時～ 電話またはHP申込フォームにて  
※オンライン受講締切は11月19日(金)17時

### 男のセルフマネジメント講座

無料  
オンライン

## いま、僕たちに必要なこと ～「男らしさ」というストレスから抜け出すために～

「男だから」と悩みやすさを口にせず、我慢を強いられてきたことで生まれるモヤモヤの解消方法を、自らの男性性と向き合い探求する「男性の語り合いの場」を主催している講師と考えます。

日時 | 11月20日(土)13:30～15:30

講師 | 西井開(Re-Design For Men代表)

受講料 | 500円 | 対象 | 男性

定員 | 会場:20名 オンライン:100名(ともに先着順)

申込 | 10月9日(土)9時～ 電話またはHP申込フォームにて  
※オンライン受講締切は11月18日(木)17時

### 【特別企画】

講座終了後、講師が主催している「男性の語り合いの場」の無料体験あり!(会場受講者のみ・約1時間・自由参加)

### 防災教室

無料  
オンライン

## 多様性を尊重した安全・安心な 避難所づくり

南海トラフ地震発生! 何とか避難所までたどり着いたけれど・・・「誰もが安心できる安全な避難所づくり」について、男女共同参画の視点で考えてみませんか。

日時 | 12月12日(日)13:30～16:00

講師 | 浅野幸子(減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)

対象 | テーマに関心のある方

定員 | 50名(先着順)

申込 | 11月6日(土)9時～  
電話またはHP申込フォームにて

その他 | 講師はオンラインで登壇し、受講は会場のみ。

・講座及び講演会は、状況により中止またはオンライン開催のみとなる場合があります。  
・会場参加は、高知県在住の方に限ります。

# 「こうち男女共同参画センター予約システム」をご利用ください!

施設予約や利用登録がインターネットから「24時間365日」予約可能。(祝祭日及び年末年始も可)

利用時間の設定が30分刻みで可能。  
(ただし、予約は1時間単位です)

支払期限(利用日の1週間前)を過ぎた未納の予約は自動的に取消されます。

コンビニ・Pay-easy払い、ただ今準備中!!

(注意)

- ・インターネットでの予約期日は、**大会議室が利用日の7日前、その他の貸室は前日まで**です。
- ・予約できる時間数には制限があります。

- ※初めて貸室を利用する方は施設利用登録が必要です(利用者IDが発行されます)。
- ※準備から後片付けの時間を含めてご予約ください。
- ※予約・登録は、窓口や電話でも受け付けています(受付時間9:00~17:00)。
- ※詳しくはソーレホームページをご覧ください、電話(088-873-9100)にてお問い合わせください。



「こうち男女共同参画センター予約システム」に移動します

## ソーレ相談室のご案内

ソーレには“こころ”をひらく場所があります。ひとりで悩まないで、まずはお電話ください(相談無料・秘密厳守)。

### 女性のための相談

一般相談 専用電話:088-873-9555

相談時間 休館日を除いた9:00~12:00、13:00~17:00  
(受付時間は16:00まで)

法律相談(1人30分・予約制)

日時 毎月第2・4木曜日 14:00~16:00

こころの相談(1人50分・予約制) ※託児あり(要予約)。

日時 毎月第1・3木曜日 14:00~16:00

男性のための悩み相談(1人50分・予約制)

日時 毎月第1・3火曜日、第4水曜日 18:00~20:00

にじいろコール~LGBTsに関する相談~  
専用電話:088-854-8542



専門の相談員が、LGBTなどの相談(性自認及び性的指向に関する様々な悩みや相談)をお受けしています。ご本人だけでなく、家族・友人・先生などもご利用になれます。発信者の電話番号は表示されません。安心してご相談ください。

日時 毎月第4土曜日 13:30~16:30

法律相談、こころの相談、男性のための悩み相談の予約電話番号は **088-873-9100** です。

- ・当月1日より翌月分を受付します。
- ・相談日は変更になる場合があります。あらかじめ、お電話またはソーレホームページの相談カレンダーにてご確認ください。

### 施設利用のご案内



- 貸室利用時間 9:00~21:00(土・日・月曜日9:00~17:00)
- 休館日 第2水曜日・祝日・(年末年始)12月29日~1月3日
- 図書・情報資料室 9:00~20:00(土・日・月曜日9:00~17:00)  
※ただし図書利用カードの発行、及び再発行の受付は17:00まで
- 相談室 9:00~12:00、13:00~17:00  
(専用電話/088-873-9555)  
※第2水曜日、祝日、12月29日~1月3日は休室です

あなたの声をお聞かせください

当紙面への感想や、主催事業及び施設利用等に対するご意見などを是非お寄せください。

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP https://www.sole-kochi.or.jp
- Facebook こうち男女共同参画センター「ソーレ」
- twitter @KochiSole

SOLE SCOPE(ソーレ・スコープ)のSCOPEは、広さ・広がりという意味。ソーレ(イタリア語で「太陽」)を拠点として、情報が広がることを意味します。



- 所在地 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス  
電車...「旭町3丁目」下車100m  
バス...「旭町3丁目」下車50~200m  
J.R...「旭駅」下車400m

駐車場の台数が非常に少ないため、お越しの際には公共交通機関のご利用をお願いします。